

おくに



2005

11

NO.613

● 広報



季節

を訪ねて

vol.7

そば粉挽き

そばが日本に伝わり食されてきたのは、遠く縄文時代に遡ると言われています。

石臼、目きり、こね鉢。昔はほとんどの家庭にあったこれらの道具が姿を消していく中、高橋クマヨさん（越中里）は、そば粉の香りや味わいを最大限に引き出す石臼をゆっくりとまわし、まもなく訪れる冬に備えます。

みんなの 広場

10/3

きれいな色に衣替え
奉仕活動で遊具の塗装



置賜地方の塗装業者でつくる置賜塗装組合（片山鋼市組合長）が、十月三日、二の宮児童遊園の遊具を塗装する奉仕活動を行いました。

この活動は、置賜地方の各市町を順番に回っており、今年で四年目を迎えるものです。当日は、米沢市や南陽市など置賜三市五町から二十名の組合員が集まり、色あせた滑り台やジャンゲルジムなどを次々とカラフルなペンキで色付けしていきました。



10/16

歴史の街道を歩く
大里峠越え交流



第十二回大里峠越え交流が、十月十六日に行われました。この企画は、昔から峠を越えて生活文化の往来があった小国町と関川村との交流を深めようと開催しているものです。今年は、小国側の手の倉口から峠に入り、山頂では折鶴の奉納が行われました。約二時間かけて歩いた後は、関川村の柄目木（がらめき）で、あたたかい芋煮「大里鍋」がふるまわれ、参加者たちの疲れを癒しました。

全国商業高校協会が主催するワープロ検定試験で、小国高等学校の今真梨恵さん、小池美保子さん、高橋政広さんが一級に合格し、十月十三日、合格証書が伝達されました。速度、筆記、文章作成能力の三教科で審査されるこの試験では、本町が進める小中高一貫教育の柱の一つである情報教育の成果が表れました。小国高等学校では、年度末にこの結果を三名の生徒に単位として認定する予定です。

10/13

一貫教育の成果表れる
ワープロ検定
初の一級合格



ーこの人に聞くー



全国防犯協会連合会
防犯功労賞受賞

舟山政太郎さん

地域の防犯に 取り組んでいます

10月11日、全国地域安全運動の小国町の出発式が、アスモ駐車場で行われ、全国防犯協会連合会の防犯功労賞を受賞された、舟山政太郎さん（越中里）に表彰状が伝達されました。舟山さんにこれまでの活動の様子をお聞きしました。

「私が住む北部地区では、今年6月から子どもたちを地域の力で守ろうと、孫支援隊を結成し防犯活動に取り組んできました。横川ダムの骨材運搬車輛など交通量が大変多くなっていることから、交通安全はもちろん、近年全国的に多発している不審者から子どもたちを守るために、ステッカーを貼った車や徒歩で巡回をするなどの活動を行っています。

また、総合学習や社会科の授業などでは、地域の先生として子ども達とカラコを作ったり、昔の生活の様子を教えたりとさまざまな活動を行っています。この賞の受賞をきっかけに一層地域住民の安全安心な生活を守っていききたいと思います。」



10/20

私たちの取り組みを
紹介します

小国高等学校町民報告会

生徒の体験学習や研究の成果を町民に知ってもらおうと、小国高等学校の町民報告会が、十月二十日、おぐに開発総合センターで行われました。生徒から、短期留学の報告や検定試験、山形大学工学部での共同研究の成果、また夏季休業中に行なったインターンシップや部活動の報告がされました。約百名の町民が集まった会場からは、質問や激励など生徒達の一層の活躍を期待する声が出されました。



10/23

小国の鍋將軍決まる
第三回小国鍋まつり

今年で三回目を迎えたおぐに鍋まつりが、十月二十三日アスモ二階駐車場を会場に開催されました。

当日は、町内から参加した九チームが自慢の鍋の味を競い、会場に訪れた町民らがそれぞれの味を審査しました。その結果、地元の野菜やエサにこだわって育てたニワトリをたっぷり使用した、母ちゃん公社の「母ちゃんのどんがら汁」が今年のおぐに鍋將軍に決まりました。

特 集

白い森の国

六千四百人以上の犠牲者を出し、発生から十年が経過した阪神・淡路大震災。

山間集落が孤立し壊滅的な被害を受けた、新潟県中越地震。過去五十五年間で最多の上陸を記録した昨年の台風。

こうした大災害も、時間の経過とともに私たちの記憶から薄れようとしています。自然災害は「忘れたところに」そして「いつ」「どこで」発生するかわからない突然の脅威です。

平成十六年七月十七日、本町を襲った集中豪雨は、昭和四十二年の羽越水害を上回る、観測史上最高となる時間雨量を記録し、町内各地に大きな被害をもたらしました。

あれから一年四ヶ月。大きな被害を受けた被災現場はどのようにに復旧されたのか。小国町はこれまで、地域住民の力でいくつもの災害を乗り越えてきた歴史があります。「災害に強いまちづくり」の実現に向けた取り組みについて考えてみます。

を
守
る
〜災害に強いまちづくり〜

七・一七豪雨を振り返る

昨年七月中旬、東北地方南部に停滞した梅雨前線の活動が活発になり、七月十七日未明から局地的に豪雨となり、本町でも、朝日山系を中心に強い雨が断続的に降り続きました。

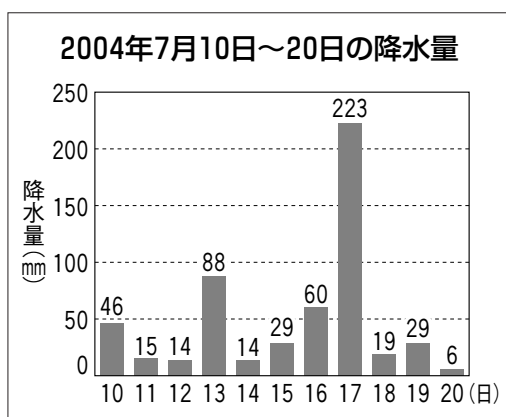


濁流が押し寄せた駅前

この豪雨は、水田の冠水や道路、河川、水路の決壊、土砂崩れ、住宅の床上・床下浸水など、町内全域に大きな被害をもたらしました。

山形地方気象台小国観測所（大宮地内）で、十七日の二

十四時間雨量が二三ミに達し、午前十一時から正午までの一時間に降った雨量は、観測史上最高となる七七ミを記録しました。



あの被災現場は今

町では、同日午後十二時五十分、町長を本部長とする小国町災害対策本部を設置し、被害の状況把握、応急対応、町民への情報発信など、町民の安全確保を最優先に、復旧作業に努めました。

被害総額は約三億六千万円に及び、町が直接実施してきた災害復旧は、今年八月の林

道沖庭線の復旧工事をもって全て完了しました。

住民自らの力

町内各地で災害が発生したことから、自分たちの身を守るため、そしていち早く応急復旧をして生産基盤を確保していくために、住民の自主的、主体的な復旧活動が各地で展開されました。

当時、町内の田沢頭地区を流れる田沢川は、みるみる水位が上昇し農業用水路は欠壊、そして川にかかる門前橋では橋の上へまで水位があがりました。出穂前の最も水を必



土のうづくりに励む消防団員

要とする大切な時期であったことから、崩れた土砂で川が堰き止められたことにより、下流の水田に大きな影響を及ぼすことが心配されたため、応急措置として欠壊が比較的小さい別のルートを復旧して水路を確保、その後大きく決壊した箇所を復旧を行いました。この復旧作業は、降りしきる雨の中、用水路を管理する水利組合などが中心となり、欠壊箇所の応急処置や土のうの積み上げなど、地域住民の力で行われました。

地域の復興

このように、早急な対応が必要であったことから、町では、地元受益者等で組織する水利組合等の農業施設や農用地などを対象に、国からの補助を受けることができ、その復旧費の八〇％以内の補助を行う、町単独の「耕地小規模災害復旧費補助制度」を創設し、災害箇所の早期復旧を進めてきました。



井の下幹線用水路被災当時（若山地内）



復旧後

この制度では、地域住民の手によって農業施設七十三カ所、農用地二十六カ所の復旧事業が実施され、復旧費は総額で四千六百万円に及び、このうち三千三百二十八万四千円の支援を行いました。



災害復旧後の用水路（田沢頭地内）

自然災害に備えて

今年七月、国土交通省では、小国町を含む北陸地方整備局管内における自然災害に迅速に対応するため、防災ヘリコプター「ほくりく号」を配備しました。

このヘリは新潟空港に待機し、災害発生時には被害を最

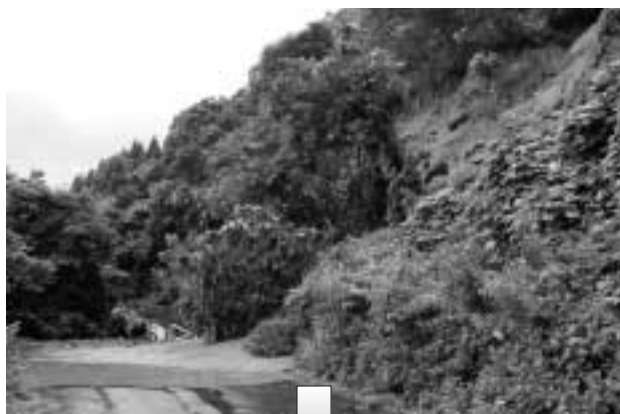
小限に抑えるため、災害の規模、状況、範囲等を速やかにかつ的確に確認し、早期の応急復旧活動を行います。機体には、画像伝送用カメラや赤外線熱画像用カメラなどが装備され、被災地の情報収集はもちろん、資材や機材の輸送など、あらゆる災害対策活動に備えます。

また、県と町では、土砂災害に備えて「小国町土砂災害危険箇所図」を作成し、危険箇所が含まれている地域に配布しました。

この地図の中には、あらかじめ家族との間で緊急連絡先や避難場所を決めて、緊急時に迅速な対応がとれるよう、確認しあった事項が記載できるようにになっています。



国土交通省防災ヘリコプター「ほくりく号」



町道松岡大石線被災当時(朝條地内)



町道伊佐領川入線被災当時(伊佐領地内)



復旧後



復旧後

日頃の備え

日頃から、避難場所やその経路の確認、避難用品の備えをしておくことが必要です。

今年度の防災訓練は、十月二日、伊佐領小学校を会場に実施しました。

当日は、昨年の豪雨災害を思い出させるかのように、前日から降り続く雨の中、災害が起きた時に適切な対応がとれるよう、真剣な表情で、けが人の応急処置や消火訓練などに臨みました。

新潟県中越地震から一年、震度6強の地震を想定して行われたこの防災訓練では、隣



伊佐領小学校で行われた防災訓練

県で起きた災害を教訓に、万が一の時、地域の力で支え合い、助け合って災害を乗り越えていくことの大切さを改めて確かめました。

災害に強いまちづくり

小国町は三八豪雪や羽越水害、そして昨年の七・一七豪雨災害に代表されるような自然災害に幾度となく遭遇し、その度に住民と民間と行政の「協働の力」で乗り越えてきました。

町ではこうした自然災害の脅威を教訓に、今年度、毛布や土のうなど、災害が起きた時緊急に必要な物資を購入し備蓄しました。その他食料品や日用品については、非常時に迅速な確保が図れるよう、町内の販売店との連携体制を整えることとしています。

このように、今後もより迅速な防災対策、体制づくりの確立に努めながら、町民が安全で安心して暮らすことができる「災害に強いまちづくり」に取り組んでいきます。

小国町議会議長 故 遠藤和壽氏を送る

去る9月28日、小国町議会議長遠藤和壽さんが享年71歳でご逝去されました。

遠藤さんの告別式は、小国町議会と遠藤家の合同葬をもって、10月10日午後1時より町民総合体育館において、しめやかに執り行われました。会場には、故人の功績をたたえ遺徳を偲んでたくさんの町民の皆さんが参列し、最後のお別れをいたしました。



平成16年11月17日
第48回町村議会議長全国大会
で宣言を読み上げる



平成17年2月17日
山形県知事表彰を受賞



遠藤さんは、昭和五十四年四月、小国町議会議員に初当選されて以来、七期二十六年余りの長きに渡り豊かな経験と卓越した見識をもって、小国町発展のために心血をそそがれてこられました。また、平成十一年からの二期六年余りは、小国町議会議長として、円滑な議会運営と地方自治の振興発展に大きく寄与されました。

特に、昭和六十一年からは横川ダム建設事業にあたり、議会の特別委員会委員長として、今日の横川ダムの建設促進に努めてこられました。さらに、平成八年からは、包括ケアタウン整備対策特別委員長として、安心して暮らせる福祉の町の礎を築かれました。

こうした一連の高い識見のもと、平成十三年からは、置賜地方町村議会議長会会長、県町村議会議長会会長に就任、平成十五年には、東日本町村議会議長会会長、全国町村議会議長会副会長に就任され、本年六月まで重責を全うされ、その手腕と功績が全国から高く評価されました。白い森の国小国をこよなく愛され、町発展の基盤を築かれた遠藤さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。



水源の郷交流館が完成しました

農林水産省の経営構造対策事業の採択を受け、町が昨年三月から東部地区に建設を進めてきた「水源の郷交流館」が完成しました。

この施設は、東部地区特有の地域資源である観光わらび園や山菜、雑穀、そばなどの自然のめぐみを有効に活用しながら、農業生産の拡大や、

農地の流動化、担い手の育成を図り、地域農業の活性化を目指すために整備されました。地場産の農産物を活かした郷土料理を提供するレストランや、山菜、そば等の調理実習を行う体験研修室などが整備され、今後、横川ダムの完成により見込まれる入込客との交流事業の展開が期待されています。この施設の管理運営は、地元の東部地区振興協議会が行います。

施設の概要

- 工事期間 平成17年3月18日から
平成17年10月25日
- 工事費 148,255千円
- 面積 366.04㎡
- 主体構造 木造平屋建て
小国町大字叶水1474番地1

伊佐領小学校 一輪車大会で活躍

十月九日、県内から二百人の小中学生がエントリーしたさわやか第二十一回県一輪車大会が酒田市で行われ、伊佐領小学校の全校児童十名が参加しました。その結果、百メートルの速さを競うスプリント競技で高橋耕平さん（六年）が、二人組で演技するカプルズ演技で、高橋奈々さん（四年）と宮野真梨恵さん（五年）ペアがみごと優勝を果たしました。



全校児童で演技した団体演技は第3位

した。その他全校児童で出場したグループ演技でも第三位に入賞するなど、これまで積み上げてきた練習の成果が実を結びました。伊佐領小学校では、二十年以上前から体力づくりやバランス感覚を養う事を目的として一輪車乗りに取り組んでおり、これまでさいわい荘や運動会などで地域のかたがたに披露してきました。

10月1日から15日までの15日間、小国高校の生徒4名がアメリカロサンゼルス
のベニス高校とコロラドのミッチェル高校に短期留学を実施しました。異文化に触れさ
まざまなことを学んできた生徒の体験を紹介します。



堺 愛莉さん

小国高等学校の生徒 アメリカへ短期留学

異文化に触れて

遠く三万キロ以上離れた異国の地で、私たちはたくさんの事を学びました。
出会い・交流・驚き・気づき……。自分のまわりだけでなく、広い世界に
目を向け、新しいものを得ることができた喜びを実感しました。

私がアメリカへ行って感じた事は、アメリカの10代の子は日本の10代の子よりも家庭に対してオープンだという事です。日本の子は家族に閉鎖的になりがちだと思いますが、アメリカの子は自分の気持ちを素直に出し、両親にその日の出来事を伝えたり、毎日母親と抱き合って愛情を伝える時間をもつなど、家族の在り方の違いを感じる事ができました。修学旅行ではできない貴重な体験をさせていただいたことにも感謝しています。

素直に家族と接する姿がそこにありました



2005.10.1-15 私たちが学んだこと

いろいろな事を知る喜びを感じました



2週間はとても短かったですが、たくさんの事を学ぶ事ができました。驚いたのは、現地の高校生は積極的に自己主張がしっかりしている事です。

また辞書や参考書にも載っていない、アメリカに住んでいるからこそその表現の仕方など、実際に現地で生活してみても初めて分かる事がたくさんありました。ひとつひとつ分かっていく事がすごく楽しかったです。このような貴重な体験をさせていただいた事にとても感謝しています。



伊藤 幸恵さん



小野まりのさん

悔いが残らないよう何事にもチャレンジしたい

2週間という時間をいただき自分の語学力を試すだけでなく、文化の違いを学びました。アメリカの学生達は日本と違い自己主張がはっきりしており、自分の意見をもっていました。今回の留学でこれからの人生観が変わったと思います。自分から行動を起こさないと何も変わらない。自分の人生、悔いを残さないためにも何事もチャレンジしていきたいと強く思いました。人生観が変わったと思える事が今回一番学んだことだと思います。



将来の職業に活かせる体験ができました



私は今回の短期留学で日本とアメリカの食文化の違いを学ぶ事が目標でした。滞在中は、ホストファミリーと一緒にスーパーで買い物をしたり、普段の食事の中から食文化の違いを感じる事ができました。特に食品の成分表示は日本よりも簡単に書いてあり、日本の食品は安心して買う事ができると思いました。今回の留学で感じたことや体験したことを将来、自分の就きたいと思っている職業にも活かしていきたいと思っています。



金 礼さん

臨時議会

議長に安部周次氏 副議長に伊藤良一氏

平成十七年第六回臨時議会が、十月二十四日に開催され、故遠藤和壽議長の合同葬に要する経費について専決処分承認を得たほか、二議案が審議され原案どおり可決されました。

また議会議長選挙が行われ、新たに議長には安部周次氏、副議長には伊藤良一氏がそれぞれ選任されました。

就任のあいさつ

小国町議会議長

安部周次氏



去る十月二十四日に開かれました臨時議会において、議員各位のご推挙により、小国町議会議長の重責を仰せつかり就任いたしました。その責務の重大さに、改めて身を引き締め、

町民の皆様から信頼される議会運営に努力する所存でございます。

小国町は今、景気雇用対策や、少子高齢化対策など多くの問題を抱え、行財政を取り巻く情勢は大きく変化してきていますが、恵まれた地域資源を活用しながら、新しい時代にふさわしい自立したまちづくりに向け取り組んでまいります。

常に公平公正な立場で町民との対話を深め、議会における議論を尽くし、小国町の発展のために取り組んでまいりますので、町民の皆様方の一層のご支援を心よりお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

町立病院内科に 高野潤先生



町立病院の内科に高野潤先生が就任し、十月一日から診察にあたられています。

高野先生は、米沢市の出身で、平成十二年に東海大学医学部を卒業後、山形大学医学部付属病院、県立日本海病院、鶴岡市立荘内病院で勤務されました。

「出身の米沢も自然豊かなところですが、小国に来て山がすごく近いなと思いました。冬がとても楽しみです。」

診療に当たる際は常に、患者の話をよく聞くことを心がけています。町民のかたがたには、遠慮せずにいろいろな事を話し、相談していただき「たいです。」と語られました。

町長室から

小国町長 小野精一

十月十三日、県教育庁が主催する「県立高校教育改革実施計画」の説明会が開催され、私も出席しました。少子化が急激に進む中であって、県立小国高等学校を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。が、集まった町民の皆様からは、魅力ある高校づくりに向けた励ましの言葉がたくさん寄せられました。また、二十日には小国高等学校の町民報告会が開催され、十二名の生徒から、国際理解や情報教育など今年度の特色ある実践活動の発表が行われました。

勝見校長先生の「今在学している生徒たちのために、そして今後入学してくる生徒たちのためにできることを精一杯やっていききたい。」という情熱と決意を込めた言葉に、今後とも小国高等学校存続に向けて、できる限りの支援と協力をしていく決意を新たにしましたところでは。

自分の健康、家族の健康、 考えてみよう！

小国町健康まつり

食や運動などの観点から、自分や家族の生活を見直し、健康な暮らしを実現しようと企画された、小国町健康まつりが、十月十五日、健康管理センターで行なわれました。エアロビクスインストラクターの指導による親子エアロビクスや、地元の食材、雑穀などを使った料理の試食会、薬と健康の相談などが行なわれ、日頃留意しなければならぬ自分や家族の健康について学びました。



地元の食材を使った料理の紹介

よい歯のコンクール表彰

今年の三歳児健診を受診されたお子さんの中から、特に虫歯が一本もなく、口腔内が良好な状態で、歯磨きの週間やおやつの内容など、生活習慣全般に優秀なお子さんとその保護者を表彰しました。

高橋夏海ちゃん

泉美さん (小国町)

今 優花ちゃん

友婦子さん (西)

青木玲花ちゃん

真由美さん (岩井沢)

佐藤亜美ちゃん

里香さん (小国町)

原田陽司くん

敦子さん (越中里)



癒しの園 シリーズ 19

健康考話

町立病院
臨床検査主任技師
三宅香保登



インフルエンザについて

早いもので今年もあと二ヶ月を残すところとなり、今年度もインフルエンザの予防接種が始まりました。

インフルエンザは、三十八度から三十九度を超える発熱をもつて突然発症し、初期には、頭痛、全身のだるさ、筋肉や関節の痛み等の全身症状を伴い、その後、鼻水、咽頭痛、咳等の症状が現れます。例年十一月～四月にこれらの症状があった場合はインフルエンザの可能性が高いと考えられます。

最近、インフルエンザの迅速検査がされるようになりました。インフルエンザの疑い

のある人の鼻の奥まで綿棒を挿入し、粘膜を軽く擦って検体を採取し、診断キットで検査をすると、二十分以内に結果は出ます。結果が陽性となれば医師が診断するうえで極めて有用な情報になります。検査をする時期により、実際はインフルエンザであっても陰性になることがあります。これを検出限界といいます。ウイルスの増殖スピードには個人差があり、陽性になるのに必要なウイルス量に達していなかった可能性がある為です。

発症から検査までの期間が短いと、ウイルス量が少なく、検出率は下がります。文献には、『発症後十二時間以内はウイルスの検出率はかなり悪く、二十四時間以降良くなる』とあります。ですが、インフルエンザかなと思ったら、早めに医療機関を受診し、インフルエンザ用の抗ウイルス薬を処方してもらって下さい。そして、湿度を保ったあたたかい部屋で安静にしてゆつくり休み、栄養のある食事と水分補給に心がけて下さい。

白い森おぐに フォトコンテスト作品募集

■テーマ

町の自然、景観、風景、町のイベント、生活風景（小国町内で撮影したものに限りです）

■部門および規格

- ①一般の部 4ツ切サイズ
- ②町民の部 2L～4ツ切サイズ

■その他

- 町民のかたでも一般の部に応募できます。
- 応募点数は1人5点までとします。
- 白黒、カラーは問いません。
- ワイド4ツ切、台紙貼り、パネル貼りしたものとは不可とします。

■応募締切 平成18年1月31日(火)必着

■入賞

- ①一般の部 最優秀賞1点、優秀賞3点
佳作7点
- ②町民の部 最優秀賞1点、優秀賞2点
佳作6点

■応募方法

応募票に必要事項を記入のうえ、写真の裏面に貼り付けして申し込んでください。応募票は町ホームページからもプリントできます。

■申込・問合先 産業振興課へ

平成17年度 白い森子ども議会開催

子どもたちが各学校で取り組んでいる白い森学習（総合的な学習）の成果を発表し合い、小国町のよさについて、意見の交換をおこないます。



■日時 11月18日(金)

14:00～15:30

■場所 総合センター集会室

■内容 小学6年～高校3年生までの子ども議員36名が議会形式で白い森学習の発表と意見交換をおこないます。

■問合先 教育委員会事務局へ

募集

勤労者住宅の入居者募集

■勤労者住宅

▼小坂町1号棟B103、B303 2K 2戸

（家賃三万三千元）

▽対象 小国町に勤務されているかた

■募集期間 11月4日(金)～11日(金)

■入居時期 12月上旬

■敷金 家賃の3カ月分
■申込・問合先 地域整備課

白い森子ども体験教室 オリジナルの唄づくり

■日時 11月26日(土)
午後1時～4時30分

※2回目は12月25日(日)開催

■場所 総合センター

■対象者 小学4年生～
中学3年生

■内容 楽器（ギター、ピアノ）の操作、オリジナルの唄づくり

■定員 15名

■申込期限 11月21日(月)

■その他 後日、各学校から申込書が配布されます。

■申込・問合先 各学校または教育委員会事務局へ

高齢者筆耕講習会受講生募集

■期日 11月22日(火)

■場所 小国町老人福祉センター

■対象者 町内に在住で、57歳以上70歳までの筆耕に興味のあるかた

■内容 毛筆による年賀状、のし袋、のし紙などの書きかたの講習

■定員 20名

■受講費 無料

■募集期限 11月15日(火)

■申込方法 ハガキに住所、氏名、生年月日、電話番号を明記し、郵送してください。（電話での申し込みも可）
■持参品 筆耕用具一式（筆、硯、下敷、文鎮など）
■申込・問合先 千代田クリンセンター（高島町）☎99-11352
小国町大字岩井沢604-2 小国町シルバー人材センター事務局（☎61-0030）へ

牛乳パック紙すき体験 参加者募集

■日時および定員 11月26日(土)

午前9時～10時 20名

午前10時～11時 20名

午前11時～12時 20名

■場所 千代田クリンセンター（高島町）

■申込期限 11月22日(火)

■申込・問合先 千代田クリンセンター（☎0238-574004）へ

催し

白い森杯柔道大会2005

■日時 11月19日(土)

相 談

年金相談

- 日 時 11月16日(水)
○受 付 10:30~14:30
○場 所 役場町民相談室
○問合先 町民課へ

無料調停相談

- 日 時 11月16日(水) 10:00~15:00
○場 所 総合センター
○内 容
●金銭の貸し借り、土地や建物、交通事故などの民事に関する問題全般
●夫婦間、男女間、遺産や相続などの家事に関する問題全般
○問合先 長井調停協会
(☎88-2073) へ

人権相談

- 日 時 11月18日(金) 10:00~12:00
○場 所 総合センター
○相談員 人権擁護委員 1名
○内 容 人権に関すること
○問合先 町民課へ

弁護士無料法律相談

- 日 時 12月7日(水) 10:00~15:00
○場 所 総合センター
○申込期限 11月25日(金)
○そ の 他 相談は予約制で、申込順となります。
○問 合 先 町民課へ

療育巡回相談

- 日 時 12月14日(水) 14:00~16:00
○場 所 置賜総合支庁西庁舎(長井市)
○対象者 おおむね3歳未満で、発育や発達に心配のある子どもとその保護者のかた
○相談員 山形県立総合療育訓練センターの専門スタッフ
○費 用 無料
○申込・問合先 健康福祉課へ

自作視聴覚教材映像祭 および作品募集

- 映像祭
▼日 時 12月3日(土)
午後3時10分
▼場 所 川西町中央地区公民館
▼内 容 今年度の置賜地区自作視聴覚教材コンクールの優秀作品を上映します。
■作品募集
▼対象者 アマチュアのかた
▼内 容 ○学校教育や社会教育の教材として活用できる作品
○自作のスライド、ビデオ、OHPシート、紙芝居、コンピュータソフトなど
※ただし、他のコンクール等で入選していない作品
▼出品期限 11月7日(月)
■出品・問合先 教育委員会事務局へ
■問合先 小国町柔道会事務局 (☎62-3835) へ

置賜こども芸術祭'05

- 作品募集
▼対象者 アマチュアのかた
▼内 容 ○学校教育や社会教育の教材として活用できる作品
○自作のスライド、ビデオ、OHPシート、紙芝居、コンピュータソフトなど
※ただし、他のコンクール等で入選していない作品
▼出品期限 11月7日(月)
■出品・問合先 教育委員会事務局へ
▼日 時 12月4日(日)
午後1時30分
▼場 所 飯豊町町民総合センター「あゝす」

アルピニスト野口健氏講演会

- 内 容 置賜地域で活動する子どもたちの舞台発表
※おぐに舞波が出演します。
■入場料 無料
■問合先 置賜総合支庁企画振興課 (☎0238-2616021) へ
▼日 時 11月30日(水)
午後6時30分会場
■場 所 グランドホクヨウ米沢(米沢市)
■内 容 講演会
▼演題 「富士山から日本を変える」
▼講師 アルピニスト 野口健氏

ご案内

第一種衛生管理者免許 試験受験準備講習

- 定員 五百名
■入場料 無料(ただし、入場整理券が必要です)
■問合先 米沢青年会議所 (☎0238-2910336) へ
▼日 時 平成18年1月11日(水)~13日(金)(3日間講習)
午前9時~午後5時
※初日の11日(水)は、午前9時30分
■場 所 山形ビッグウイン

排水設備工事責任技術者 登録更新

- 定員 百名
■受講料 一万七千七百八十円(テキスト代含む)
■申込・問合先 置賜労働基準協会 (☎0238-215678) へ
日本下水道協会山形県支部に登録している責任技術者のかたで、登録の有効期限が平成18年1月31日までのかたは、現在所属している指定工事業所在地の市町村で、更新手続きが必要です。
■対象者 登録有効期限が平成18年1月31日までのかた

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◆東京タワー リリー・フランキー
 ◆恋バナナ 赤・青 Y o S h i
 ◆かたみ歌 朱川 湊人
 ◆七人の弁慶 森 泳
 ◆東京DOLL 石田 衣良
 ◆震度0 横山 秀夫
 ◆やればできるんよ 山廣 康子
 ◆市町村大合併
 ◆日本領サイパン島1万日 野村 進
 ◆キャベたまたんていシリーズ 三田村信行

※ほか多数入荷しました。

今月の休館日

11月2日(水)・3日(祝日)・23日(祝日)

●更新内容 登録更新の申請
 および更新講習会の受講
 ■申請期間 11月7日(月)～
 12月2日(金)
 ■申請・問合先 地域整備課
 へ

●工事の追加、変更は良く話し合ってください。
 ●工事完成後の確認は確実に
 行いましょう。

■問合先 地域整備課または
 (財)住宅リフォーム・紛争処理
 支援センター(☎03-
 3556-5147)へ

●更新内容 登録更新の申請
 および更新講習会の受講
 ■申請期間 11月7日(月)～
 12月2日(金)
 ■申請・問合先 地域整備課
 へ

●工事の追加、変更は良く話し合ってください。
 ●工事完成後の確認は確実に
 行いましょう。

■問合先 地域整備課または
 (財)住宅リフォーム・紛争処理
 支援センター(☎03-
 3556-5147)へ



一部が悪質事業者による訪問販売など、住宅リフォームに関するトラブルが急増しています。おかしいと思ったらすぐに契約せず、信頼のできる機関に相談しましょう。

●事業者選びは慎重に進めましょう。

●工事契約は必ず書面で行い

■問合先 消防署小国分署へ

新築住宅は、平成18年6月1日から、既存住宅は、平成23年6月1日から住宅用火災警報器が義務設置になります。設置場所は、基本的に寝室、階段(2階以上に寝室がある場合)、廊下(7㎡以上の居室が5室以上ある階)です。

住宅用火災警報器の設置

求人情報

左の表は、10月4日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

管理職対象セミナー開催

- 日時 11月21日(月)
 午後3時～4時30分
 ■場所 白い森ショッピングセンター
 アスモ多目的ホール
 ■対象者 管理職のかた
 ■内容 人権、セクハラ、差別についての講話
 ■講師 東京人権啓発企業連絡会啓発委員 日本電気(株)人事部人事マネージャー
 植竹設郎氏
 ■問合先 産業振興課へ

雇用相談室から

雇用相談員の勤務体制が変更になりました。

相談日	午前(8:30～12:00)	午後(13:30～17:00)
月		馬場高子相談員
水		高野 孝相談員
金		本間英祐相談員

※火、木は産業振興課職員が対応します。

■問合先 産業振興課へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
山 和 建 設 (株)	4人	土木施工管理技士、土木作業員	18～55	8:00～17:00
(株) 齋 藤 建 設	2人	土木施工管理技士、土木作業員	不問	8:00～17:00
(株) 横 川 建 設	5人	土木施工管理技士、重機オペレーター、廃棄物処理作業員	18～50	8:00～17:00
大 河 内 産 業 (有)	5人	事務員、運転手	不問	8:00～17:00
(株) K S 産 業	2人	運転手	不問	8:00～17:00
ひさご電材(株)小国工場	1人	電線製造工	20～45	8:30～17:30
猪 野 電 気 工 事 (株)	2人	電気工事	18～35	8:00～17:00
(株)アイライン山形支店米沢センター	10人	石英ガラス加工	不問	8:30～16:40ほか
(株)コラボレート山形営業所	5人	石英ガラス加工	不問	8:30～16:40ほか
(株)サンヨナイスコーポレーション	3人	建築施行管理	不問	8:00～17:00
ヤマト運輸(株)長井営業所	2人	セールスドライバー	20～40	8:00～17:00
(有) 村 上 警 備 保 障	5人	交通誘導	不問	8:00～17:00
東芝セラミックス(株)小国サイト	1人	設備管理	～35	8:30～17:10
日本重化学工業(株)小国事業所	3人	技術員、研究員	20～34	8:15～17:15
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～17:45
K - P R O D U C T S	1人	インターネット販売	不問	9:00～18:00
北陸建設サービス(株)新潟支店	1人	パソコン操作事務	21～40	8:30～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
アベ プランニング	1人	サービススタッフ	不問	8:00～17:00
(有)コズカンパニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(有)白い森よこね物産品直売所	2人	販売、調理補助	18～45	9:00～20:00間の5時間
小 国 町 森 林 組 合	2人	造林作業	不問	7:30～17:00
小 国 食 糧 (株)	1人	販売員	18～45	9:30～18:30
(有) 蔵 王 ス ト ア ー	2人	店員	不問	8:45～18:00
ファミリーマート小国町店	3人	店員	不問	21:00～0:00ほか
特定非営利活動法人まんまる	1人	調理員	不問	9:00～14:30

保健カレンダー

月 日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
12/9	1歳6カ月児 健康診査	12:30 ～ 13:00	16年4月 ～6月生 まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、問診票（4カ月児、1歳児 健康診査は除く）
12/16	4カ月児 健康診査	13:00 ～ 13:15	17年8月 生まれ	
	1歳児 健康診査		16年12月 生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

子育て支援センターから

▽『あそびの広場』

■日 程 11月15日(火)、22日

(火)子育て講座(親子体操、
29日(火)、12月6日(火)、13日

■時 間 10時～11時30分

■場 所 健康管理センター

▽『なかよし広場』

■日 程と場所

▼11月17日(木)、12月1日(木)、
15日(木)

総合センター

▼11月24日(木)、12月8日(木)

おぐに保育園

■時 間 10時～11時30分

▽『いびも愛ランド』

■日 程 12月10日(土)

■時 間 9時30分～

■場 所 健康管理センター

■内 容 親子でクッキー作りと工作

※詳しいことは、子育て支援
センター(☎62-2330)へ

健康スポーツ教室開催

参加者募集

■日時および場所

- 1期 11月22日、29日、12月6日、
13日、20日(毎週火曜日)
19:00～20:30 町民体育館
- 2期 平成18年1月17日、24日、31
日、2月7日(毎週火曜日)
19:30～20:30 温泉健康館
「ゆ～ゆ」
- 3期 平成18年2月14日(火)
19:00～20:30 町民体育館

■内 容

健康チェック、体力測定、ト
レーニング方法指導、水中運
動

■対象者

運動をしても問題のないかた
で、健康やスポーツに興味の
あるかた

■参加費

無料(ただし、スポーツ安全
保険料1,510円が必要です)

■申込期限

11月11日(金)

■申込方法

保険料を添えて町民体育館
へ申し込んでください。

■申込・問合先

町民体育館へ

福祉の仕事

合同面接会2005

■日 時

11月11日(金) 13:00～16:00

■場 所

山形ビッグウイング(山形市)

■対象者

福祉の仕事に関心のあるかた
福祉の職場に就職を希望するかた

■内 容

- 求人施設面談会
- 総合相談、求職登録コーナー
- ハローワークコーナー
- 福祉関係資格取得相談コーナー など

■参加費

無料

■その他

当日、気軽においでください。

■問合先

山形県福祉人材センター(☎023-633-7739)へ



地域ケアサービス リーダー育成研修

■日 時

11月26日(土) 13:00～15:30

■場 所

置賜生涯学習プラザ(長井市)

■内 容

●講演会

- 演題 「多様化する地域福祉サービス」
- 講師 東北公益文化大学教授 渋川智明氏

●シンポジウム

■申込期限

11月15日(火)

■申込・問合先

まごころサービス長井(☎84-6848)へ

気軽に相談してください 行政書士制度

行政書士は、官庁や役所などに提出する諸書類の作成、相談、提出代行を行います。具体的には次のようなことについて相談を受けたり、書類の作成や提出などを行っています。

仕事を依頼する場合は、事前に電話で必要書類を確認し、持参することが手続きの早道になります。

■行政書士の主な業務

相続・遺言などの手続き、契約書作成、法人設立、農地転用、内容証明書作成、遺産分割、会計帳簿記帳処理など

■問合せ先 山形県行政書士長井支部事務局
(☎88-9264) へ

個人事業主のみなさんへ

よく知っていますが消費税簡易課税制度

簡易課税制度は、課税売上高から納付する消費税額を計算する制度です。簡易課税制度を選択するかたは、忘れずに届出をしてください。

■対象者 前々年の課税売上高が5,000万円以下の個人事業者のかたで、平成17年において新たに課税事業者となったかた、および平成18年において課税事業者であるかた

■届出期限 12月31日(土)

■その他 個人事業者のかたの消費税の納税には、振替納税を利用してください。

■問合せ先 長井税務署総務課管理徴収担当
(☎84-1811) へ

自衛官を募集します

- 種 目 2等陸、海、空士
- 応募資格 18歳以上27歳未満の男子のかたで、平成18年3月末に各部隊へ入隊できるかた
- 試験種目 筆記試験、口述および身体検査
- 受付期限 12月6日(火)
- その他 陸、海、空自衛隊生徒(平成元年4月2日から平成3年4月1日までに生まれたかた)の募集も行っています。
- 申込・問合せ先 自衛隊米沢募集事務所(☎0238-231001) へ

国民年金保険からのお知らせ

年末調整・確定申告には

社会保険料控除証明書を添付しましょう

国民年金保険料は、納付した全額が所得税や市町村民税の社会保険料控除の対象となります。

■証明書の送付

対象者	送付証明書	送付時期
今年1月から9月まで国民年金を納付したかた	社会保険料(国民年金保険料)控除証明書 ※はがき	年末調整申告に間に合うよう、11月初旬に送付します。
年の途中から国民年金に加入した場合など、10月以降に本年はじめて保険料を納付するかた		確定申告に間に合うよう、来年2月初旬に送付します。

※平成17年分の所得申告から、証明書の添付が義務付けられました。送付された証明書を紛失しないよう大切に保管し、申告の際に添付してください。

■問合せ先 町民課へ

国民健康保険からのお知らせ

ー1日人間ドック追加募集ー

小国町国民健康保険では、1日人間ドックを実施しています。現在、約150人のかたがたに申し込みをいただいておりますが、まだ申し込みをされていないかたで受診を希望するかたを対象に、追加募集を行います。

人間ドックは、個人で受ける場合、全額自己負担ですが、今回は国民健康保険の助成により約4分の1の負担で受診できます。

■期 日 11月18日(金)、25日(金)、28日(月)、30日(水)

■対象者 平成17年4月1日現在、満30歳、33歳、36歳、39歳、42歳、45歳、48歳、51歳、54歳、57歳、60歳、63歳、66歳、69歳、72歳のかたで、現在国民健康保険に加入されているかた(老人保健対象者を除く)

■実施医療機関 小国町立病院

■個人負担金 男性10,500円 女性11,200円

■申込方法 希望する受診日の1週間前までに、電話で申し込んでください。

■申込・問合せ先 町民課へ

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

幸	町	澤	口	琉	憂	(和綾)	広
兵	庫	館	伊	藤	慎	吾	(信幸)
小国小坂町	梅	津	しょう	渉			(和紀)
五味沢	齋	藤	こ	心	花		(美子)
小国町	中	井	こう	煌			(千曉)
小国小坂町	中津川	あ	ゆ	愛	結		(哲美)
小国町	井	上	ひ	なた			(久也)
小国町	船	山	る	いと	斗		(善典)

結婚おめでとうございます。

(大	石	沢	中	原	稔
(中	国	郝	鳳	艶	
(小	国	山	北	裕	
(小	国	清	野	梢	

おくやみ申し上げます。

小	股	安	部	揚	子	(70)
岩	井	井	上	忠	治	(88)
小国小坂町	金	秀	子			(74)
長	沢	安	部	彦	一	(79)
焼	山	渡	部	志	了	(84)
栃	倉	伊	藤	て	つ	(89)
岩	井	丹	ふ	よ		(83)
宮	の	中	塚	誠	二	(34)
小国小坂町	金	俊	禅			(83)
大	宮	遠	藤	和	壽	(70)

人口のうごき

人 口 男 … 4,811人(－5)
 女 … 5,068人(－12)
 計 … 9,879人(－17)
 世帯数 3,300世帯(－2)
 平成17年9月30日

冬期間通行止め

冬期間の列車輸送の安全確保のため、踏切の敷板をはずします。そのため次の踏切で車両通行止めとなりますので、みなさまの協力をお願いします。

■期 間 平成17年11月24日(木)～平成18年3月31日(金)

■通行止めとなる踏切

- 霜下踏切(箱口地内)
- 松坂踏切(伊佐領地内)
- 朝篠踏切(朝篠地内)
- 木落踏切(町原地内)
- 西岩井沢踏切(諏訪神社東側)
- 滝沢踏切(電興前)
- 増岡踏切(幸町地内)
- 赤芝踏切(ドライブイン跡地裏)

■問合先 地域整備課へ

徳網山登山道を整備しました

北部地区に新名所、徳網山登山道を整備しました。

徳網山の標高は787mで、山頂までは約2時間程度で登れる軽登山コースです。登山口は、小国町大字五味沢地区、樋倉集落内、樋倉橋先にあり、駐車場が整備されています。

おぐにの大自然をぜひ体験してください。

■問合先 小国町誘客振興協議会事務局
 (産業振興課内 ☎62—2111) へ

利用してください 国の教育ローン

- 対 象 者 高校、短大、大学、専修学校などに入学または在学するかたの保護者のかた(年収制限があります)
- 融 資 額 学生、生徒1人につき200万円以内
- 返済期間 10年以内
- 利 率 年1.65%(平成17年5月10日現在)
- 申込・問合先 国民生活金融公庫米沢支店
 (☎0238—21—5711) へ

11月9日～15日

秋の火災予防運動

「あなたです火のあるくらしの見はり役」

期間中は、朝7時と夕方6時にサイレンを鳴らします。火の元には十分注意してください。

■問合先 消防署小国分署へ

体育協会設立五十周年記念

シリーズ
健康・体力づくりのあゆみ

地区対抗種目の七つ目の競技として、昭和四十八年から婦人バレーボール大会が開催されるようになりました。

今月は、数年前までほとんど練習も休まず、現役で活躍されていたという、渡部アキさん（小国小坂町）に思い出をお伺いしました。

「二つのボールを
必死に追いかけてました」



渡部 アキさん

「当時はまだ、町の体育館がなかったので東芝セラミックスの体育館で大会を行っていました。私が小坂町に引っ越してきた年から、地区対抗の



昭和52年 優勝した小坂町チームの試合

婦人バレーボール大会が始まりましたが、バレーが大好きな私は、練習を休んだことは一度もありませんでした。メンバーは、私を含めほとんどが子育て中でしたので、練習にはみんな子どもを連れ

てきて、子ども好きの私の夫が面倒をみてくれていました。

今でもよく覚えていいるのは、肩をケガした時の事です。人数が九人ぎりぎりだったため、接骨院でがっちりテーピングをしてもらい、絶対にスパイクを打つたりしないという約束で出場した覚えがあります。また、スパイクが決まり、みんなであまりにも喜んだため、その時に手をケガしたなどという笑い話もありました。

バレーは、みんなの気持ちが一つにならないとできませんので『失敗してもみんな、決まってもみんな』という気持ちで常にやっていました。」と語る渡部さんは、今もソフトバレーのチームで活躍されています。

編集室から

十月二十三日、紅葉ジョギング大会に参加しました。雨の音で目覚めたその朝、走ろうか、やめようかぎりぎりまで葛藤していましたが、走ろうと決め小玉川へと向かいました。会場につくと、雨の中を半袖姿でウォーミングアップをしている陸上スポ少の小学生を見て、やめようかと思っていた自分が恥ずかしくなりました。この大会には、岩手県から六時間かけて毎年参加されている方もいるそうです。さて、秋と言えば運動の秋、食欲の秋、芸術の秋……。皆さんはどのような秋を過ごされているでしょうか。私は、冬に備えて脂肪の服をもう一枚。もっぱら食欲の秋です。

（舟山）

出会いとともに



宝石のような実をつけたザクロ（町原地内）